

令和2年2月 加茂市長定例記者会見

R2. 2. 6 (木) 10:00

## 1. 加茂紙の販売について

加茂市は昔から紙漉きの盛んなまちで、加茂紙は地場産業として隆盛を続けましたが、洋紙が普及するようになると昭和30年代には数件を残すのみとなり、平成に入り加茂紙の製造は終了しました。

市では平成23年度から紙漉き技術保存振興事業を立ち上げ、紙漉き技術の保存振興、再興に力を入れています。

現在は上町にある「加茂紙漉場」で紙を漉いています。

そこで漉かれた紙を、今月から「みやげものセンター」と「加茂美人の湯」の2ヶ所で販売を始めました。

販売する紙の種類は4種類で、価格は

①加茂紙ななたに 1,200円

栽培から手掛けている七谷地区の楮を使った和紙です。

②加茂紙晒（さらし）スジ入 700円

漂泊した和紙に楮の繊維を模様として入れて漉いた和紙です。

③加茂紙 600円

無地の和紙です。

④加茂紙チリ入 500 円

楮の皮のチリを模様として入れて漉いた和紙です。

いずれもすべて原料は楮 100%で、大きさは縦 60 cm横 90 cmです。

今後も継続して加茂紙を販売できるよう、体制を整備していきます。

また、来年度になりましたら、紙漉きの体験もできるよう準備をしていきたいと考えています。

2. 新型肺炎関連 友好都市 中国<sup>ツォーボー</sup>淄博市への支援物資（サージカルマスク）  
の提供について

現在、我々が非常に危機感をもって関心を寄せております、中国湖北省武漢市を中心に、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルスによる感染症、いわゆる新型肺炎に関して、このたび、加茂市では、友好都市であります、中国<sup>きんとん</sup>山東省の淄博市へ、支援物資としてサージカルマスクをお送りすることにいたしました。

数は、7万2千枚です。

淄博市での感染状況は、2月4日時点の市政府発表によると、山東省内298人のうち、淄博市14人とのことですが、市当局によれば予防対策に尽力するも、マスクの生産が需要に追い付いておらず緊迫した状況であるということです。

そこで、加茂市が2013年に企業から寄付を受け備蓄していたマスクの中

から、市民向けに確保する分を残し、淄博市でお役に立てていただけるよう  
お送りすることにしたものです。

感染が拡がり、緊迫した状況が続く淄博市ですが、市民の皆様への健康被  
害が最小限に食い止められますようお願いしております。

以上です。

ありがとうございました。